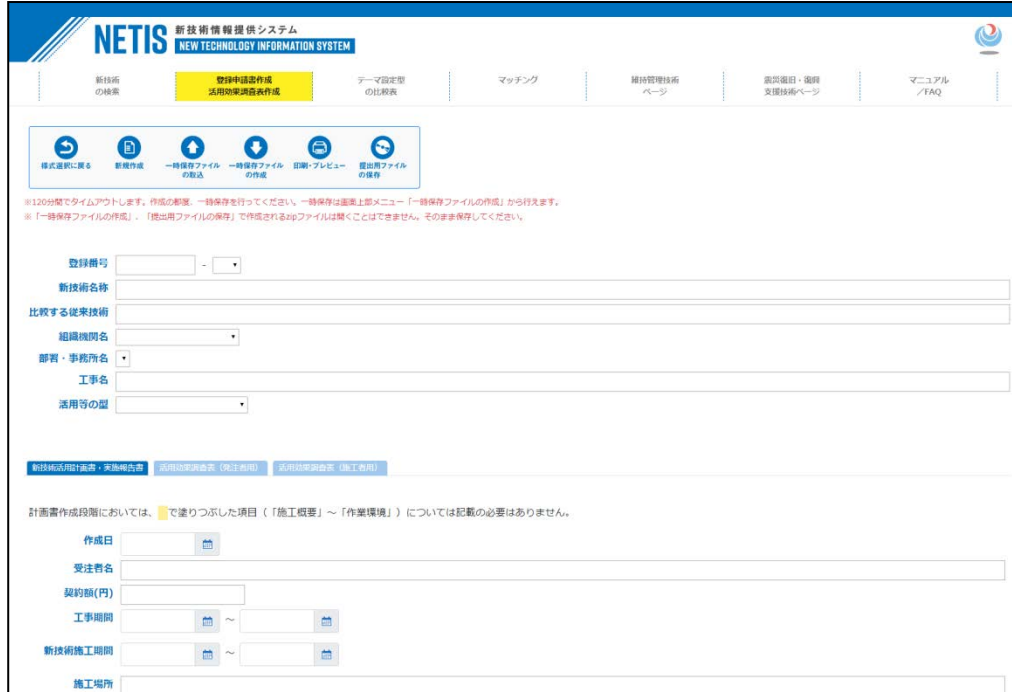


# 新技術活用計画書・実施報告書、 活用効果調査表の作成について

---

- ・ 令和2年1月より「NETIS」（新技術情報提供システム）がリニューアル（クラウド化）され、新技術を活用した際に作成する「新技術活用計画書、実施報告書」および「活用効果調査表」がWEB上で作成可能となりました。
- ・ これまで、九州地方整備局ではExcel版の調査表等を利用しておりましたが、リニューアルに伴いExcel版を廃止し、今後はWEB上での調査表等の作成へ切り替えます。
- ・ 本紙ではWEB上での手順を記載しています。

## ○計画書・実施報告書、活用効果調査の作成を NETISサイト上で実施



NETIS 新技術情報提供システム  
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

新技術の検索 | 登録申請書作成 | テーマ別検索 | マッチング | 維持管理技術 | 高度優良・優良 | マニュアル/FAQ

※120分間でタイムアウトします。作成の際は、一時保存を行ってください。一時保存は画面上部メニュー「一時保存ファイルの作成」から行えます。  
※「一時保存ファイルの作成」、「提出用ファイルの保存」で作成されるzipファイルは開くことはできません。そのまま保存してください。

登録番号: [ ] - [ ]  
新技術名称: [ ]  
比較する従来技術: [ ]  
組織機関名: [ ]  
部署・事務所名: [ ]  
工事名: [ ]  
活用等の型: [ ]

新技術活用計画書・実施報告書 | 活用効果調査表 (施工前用) | 活用効果調査表 (施工後用)

計画書作成段階においては、[ ]で塗りつぶした項目(「施工概要」～「作業環境」)については記載の必要はありません。

作成日: [ ]  
受注者名: [ ]  
契約額(円): [ ]  
工事期間: [ ] ~ [ ]  
新技術施工期間: [ ] ~ [ ]  
施工場所: [ ]

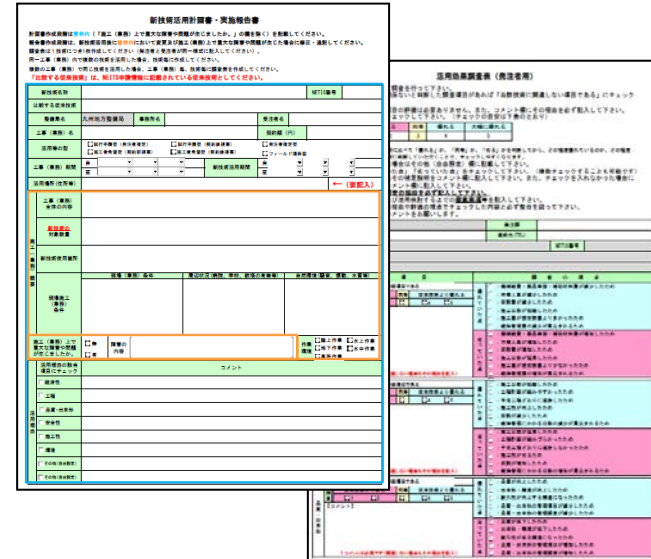


Web上で入力し、  
zipファイルを作成

提出

現行

## エクセルで調査表を作成



新技術活用計画書・実施報告書

活用効果調査表 (調査後用)

※120分間でタイムアウトします。作成の際は、一時保存を行ってください。一時保存は画面上部メニュー「一時保存ファイルの作成」から行えます。  
※「一時保存ファイルの作成」、「提出用ファイルの保存」で作成されるzipファイルは開くことはできません。そのまま保存してください。

登録番号: [ ] - [ ]  
新技術名称: [ ]  
比較する従来技術: [ ]  
組織機関名: [ ]  
部署・事務所名: [ ]  
工事名: [ ]  
活用等の型: [ ]

新技術活用計画書・実施報告書 | 活用効果調査表 (施工前用) | 活用効果調査表 (施工後用)

計画書作成段階においては、[ ]で塗りつぶした項目(「施工概要」～「作業環境」)については記載の必要はありません。

作成日: [ ]  
受注者名: [ ]  
契約額(円): [ ]  
工事期間: [ ] ~ [ ]  
新技術施工期間: [ ] ~ [ ]  
施工場所: [ ]



エクセルファイル  
を作成

提出

※120分でタイムアウトします。  
作成の都度、一時保存を行ってください。

## 【NETIS TOPページ】



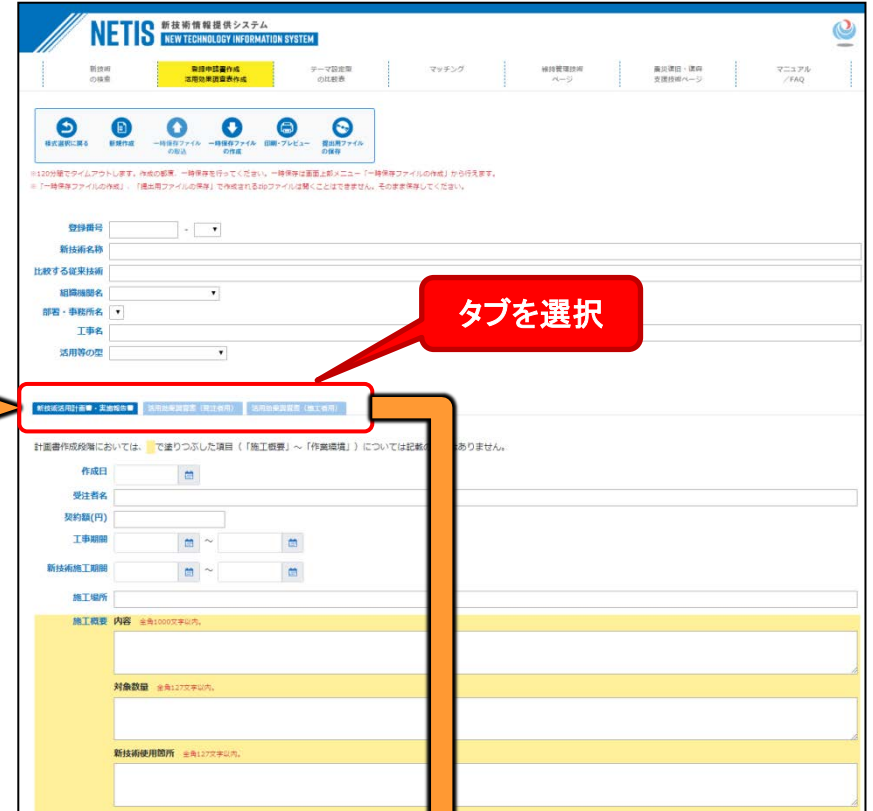
登録申請書作成  
活用効果調査表作成



活用効果調査表作成  
(評価情報)

作成

## 【入力画面】



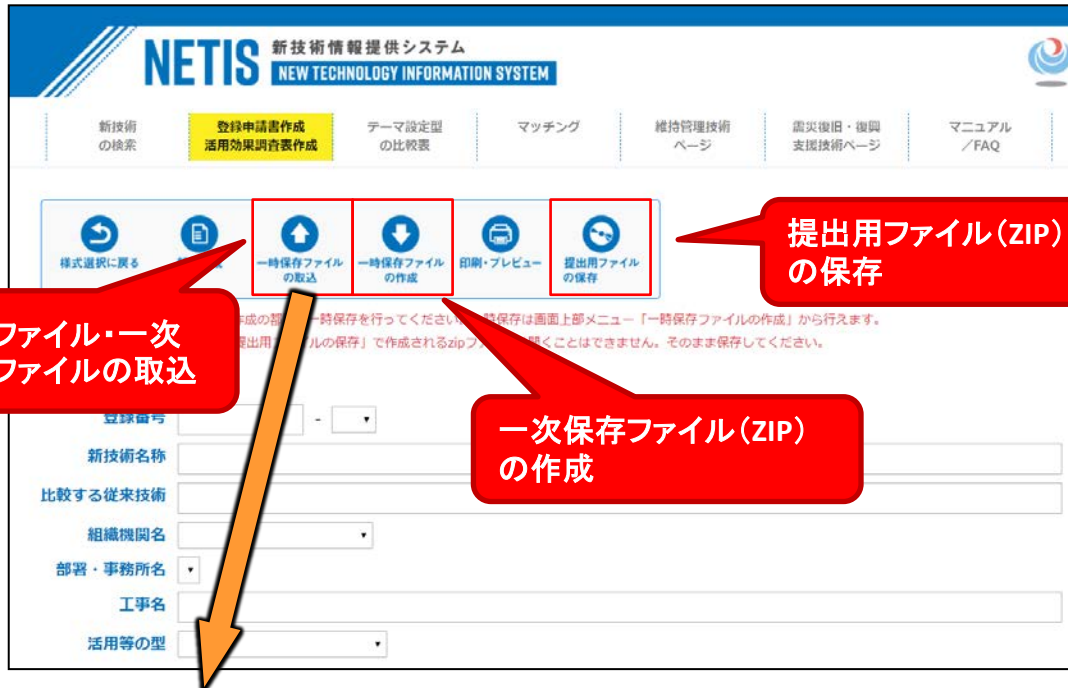
タブを選択

新技術活用計画書・  
実施報告書

活用効果調査表  
(発注者用)

活用効果調査表  
(施工者用)

※入力する項目(タブ)をクリックして  
選択してください



## 提出用ファイルについて

- ◆ 提出用ファイルは、「工事名\_QS-〇〇〇〇〇〇.zip」で作成されます

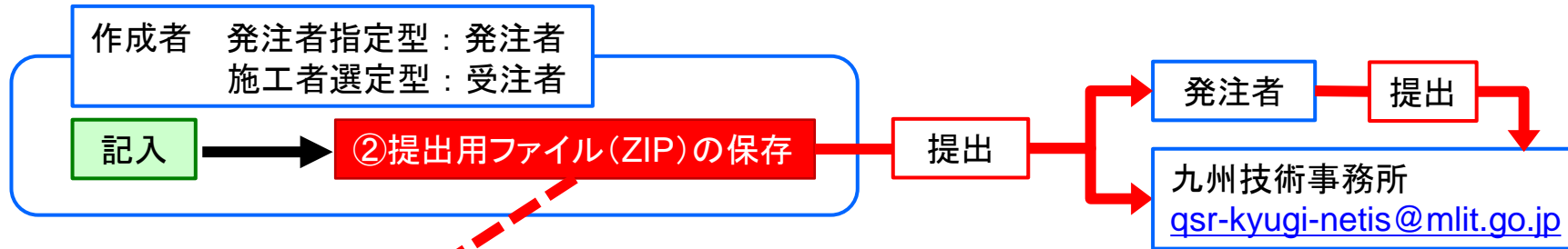
## 【提出ファイル・一次保存ファイルの取込】



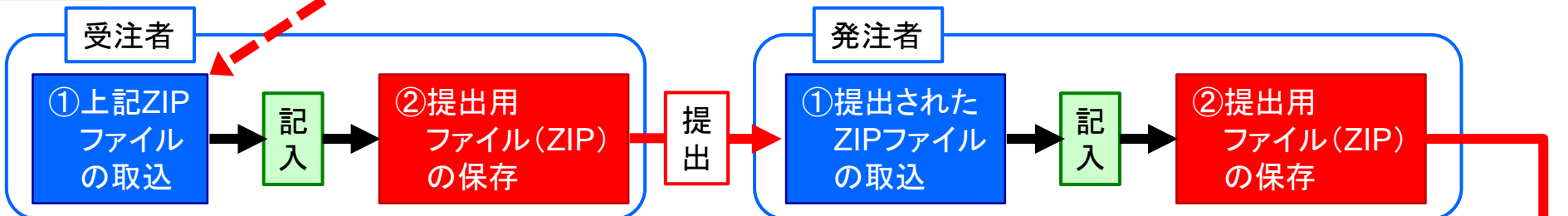
※ZIPファイルは開くことはできません  
必ず、左の画面にて取り込んでください

## 【新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の提出の流れ】

### 活用前 【計画書・実施報告書】



### 活用後 【活用効果調査表、実施報告書(大幅な変更があった場合)】



### NETIS画面



①提出ファイル・一次保存ファイルの取込

②提出用ファイル(ZIP)の保存

九州技術事務所  
qsr-kyugi-netis@mlit.go.jp

## 九州地方整備局における新技術活用計画書の記入方法

新技術活用計画書・実施報告書 活用効果調査表 (記注者用) 活用効果調査表 (施工者用)

計画書作成段階においては、**黄色**で塗りつぶした項目(「施工概要」~「作業環境」)については記載の必要はありません。

作成日

受注者名

契約額(円)

工事期間  ~

新技術施工期間  ~

施工場所

**施工概要** 内容 全角1000文字以内。

対象数量 全角127文字以内。

**新技術使用箇所** 全角127文字以内。

**施工(活用)概要資料**

ファイルを選択 選択されていません  
※ファイルは30MBまでのものとしてください。

現場施工条件 全角1000文字以内。

●現場条件 ●周辺状況(病院、学校、鉄道の有無等) ●自然環境(騒音、振動、水質等)

**障害** 施工上で重大な障害や問題が生じましたか。

無  有

障害の内容 全角127文字以内。

**作業環境**  陸上作業  水上作業  地下作業  水中作業  高所作業

**活用理由**

※チェックボックスにチェックがない場合、入力されたコメントはNETISに登録されません。  
※チェックボックスにチェックがある場合、コメント欄は入力必須です。

経済性

工程

品質・出来形

安全性

施工性

環境

その他 (  )

その他 (  )

・計画書作成段階において、「障害」を除く**全ての項目**について記入をしてください

黄色で塗りつぶした項目(「施工概要」~「作業環境」)についても記入してください  
特に、対象数量に関しては、**新技術のコストが推定できる「新技術部分の数量」**を記入してください

・実施報告書の作成について(-VE技術)  
「-VE」技術については、新技術活用計画書作成時より**大幅な変更や施工上で重大な障害や問題があった場合に、実施報告書を修正**してください

「-A」「-VR」「-V」技術および「-VE」技術で計画書作成段階において「施工概要」~「作業環境」を記入していない場合については、実施報告書、活用効果調査表(「-VE」は不要)の提出が必要となります

参考：活用効果調査表入力システム操作マニュアル

## 【NETIS TOPページ】



## 活用効果調査表作成 簡易利用マニュアル

